幸町地区総合整備方針(案)について

1 経緯

幸町地区には、呉市立美術館(以下「美術館」といいます。)や呉市入船山記念館(以下「入船山記念館」といいます。)などがあり、同地区は、市民や来訪者が歴史・文化・芸術に親しむことができる地区となっています。また、幸町地区にある青山クラブ・桜松館については、平成30年に呉市が国から取得し、これまで活用案の検討やニーズ調査等を行ってきました。

こうした中、幸町地区の歴史的経緯等を踏まえ、同地区を「歴史及び文化・芸術の拠点」として再整備することにより、地区全体の魅力を高め、市内の回遊性向上につなげ、市民が普段から利用(活動・交流)し、多くの来訪者が訪れ、滞在することで、にぎわいを創出するとともに、落ち着いた雰囲気で歴史・文化を感じることができる地区となるよう、同地区の総合整備について一体的に検討を進めていくこととし、令和5年5月には、建築、都市計画、歴史、文化・芸術の学識経験者等で構成される幸町地区総合整備検討有識者会議(以下「有識者会議」といいます。)を設置し、幸町地区総合整備エリアデザイン(以下「エリアデザイン」といいます。)の取りまとめに向けた検討を進めました。そして、本年1月、有識者会議でエリアデザインを取りまとめ、市への提言がありました。

この度,有識者会議からのエリアデザインの提言を踏まえ,市として,幸町地区総合整備方針(案)を取りまとめましたので、その内容を報告します。

2 有識者会議の開催結果

令和5年5月の有識者会議設置後、会議を9回開催し、幸町地区の現況や歴史的経緯などを踏まえ、提案や議論を重ねながら、整備コンセプト、幸町地区に求める機能、地区内の施設の配置、建物の活用方法等について検討を進め、エリアデザインを取りまとめました(別紙参照)。なお、エリアデザインについては、令和6年11月に総務委員会で行政報告を行った内容から大きな変更はありません。

	日 時	会場	主な議題
第1回会議	令和5年5月31日(水) 18時00分~20時15分	呉市役所	○幸町地区の現状と課題の共有○地区に必要と考えられる機能について
第2回会議	令和5年8月2日(水) 18時00分~19時45分	呉市役所	○整備コンセプトについて○各施設の在り方について
第3回会議	令和5年9月29日(金) 18時00分~20時00分	呉市役所	○整備コンセプトについて○幸町地区に求める機能について
第4回会議	令和 5 年11月21日 (火) 18時00分~20時15分	呉市役所	○整備コンセプトの取りまとめ○幸町地区に求める機能の取りまとめ
第5回会議	令和6年3月27日(水) 18時00分~20時40分	呉市役所	○幸町地区に求める機能の具体案について○幸町地区の機能の配置案について
第6回会議	令和6年6月3日(月) 17時00分~19時20分	呉市役所	○幸町地区総合整備事業案 美術館・青山クラブの整備に係る6案を提示
第7回会議	令和6年9月9日(月) 10時00分~11時40分	呉市役所	○幸町地区総合整備事業案 第6回会議において6案から絞り込んだ3案につい て,詳細な検討案を協議
第8回会議	令和6年11月11日(月) 17時00分~18時10分	呉市役所	○幸町地区総合整備エリアデザイン(案)
第9回会議	令和7年1月15日(水) 18時00分~19時00分	呉市役所	○幸町地区総合整備エリアデザイン○市への提言

3 幸町地区総合整備方針(案)

- (1) 幸町地区総合整備コンセプト・機能
 - ア 総合整備コンセプト 呉の歴史と文化を未来へ~つどう・つながる・感じる・育む~
 - イ 幸町地区に配置する機能
 - ①呉の歴史を伝え、感じる施設、②文化・芸術に親しみ、発信する施設、③まちの情報発信・賑わいの拠点
- (2) 幸町地区施設整備計画(案)



(注)新美術館・ホールの建物の配置・形状, 青山クラブの在り方等は、今後、幸町地区 総合整備基本計画や,美術館あり方検討委 員会での議論を踏まえて決定します。

(3) 各施設の整備方針(案)

ア 青山クラブ

	・青山クラブの建物の印象的なRの形状の部分のイメージを継承することを重視して、建
整備方針	物を一部保存する。
	・建物の一部保存の範囲及び保存方法については、柔軟に設定する。
	・具体的な整備内容については,一部保存やデザインの継承による新築整備も含め,柔軟
	に検討する。
	③まちの情報発信・賑わいの拠点
	・情報発信コーナー・フリースペース
まる サフザ が	・カフェ・レストラン、物販施設、宿泊施設(民間事業者のニーズを把握しながら検討)
配置する機能	・多目的スペース・貸室
	②文化・芸術に親しみ、発信する施設
	・文化・芸術活動ができるスペース,音楽活動練習室等
	・令和8年度に調査(一部保存部分の活用に向けた詳細調査、建物解体部分の活用する部
整備スケジュール	材等に関する調査)を実施し、令和9年度に建物の解体を行う予定
	・一部保存部分については、令和9年度から設計・工事を実施し、令和13年度の供用開
	始を予定

イ 桜松館

整備方針	・建物を解体して、美術館通りから直接アクセスできるオープンスペースとして整備する。
ᆂᄱᄭᆈ	・桜松館のホールの部材の一部は、新美術館に整備するホールに移設して活用する。
配置する機能	③まちの情報発信・賑わいの拠点
肛旦9の放肥	・オープンスペース
	・令和8年度に調査(建物解体部分の活用する部材等に関する調査)を実施し、令和9年
整備スケジュール	度に建物の解体を行う予定
	・桜松館跡地のオープンスペースについては、令和8年度から設計・工事を実施し、令和
	11年度の供用開始を予定

ウ 新美術館

	・青山クラブの建物の解体部分及び中庭の一部に美術館を新築整備する。		
整備方針	・桜松館のホール機能を移転し、講演会や作品展示、音楽コンサート等が開催できる小規		
	模なホールを整備する。		
配置する機能	②文化・芸術に親しみ、発信する施設		
	・美術館,ホール等		
整備スケジュール	・令和9年度から設計・工事を実施し、令和13年度の供用開始を予定		

工 現美術館

整備方針	・建物を改修して、歴史展示室・収蔵庫等として活用する。
配置する機能	①呉の歴史を伝え,感じる施設 ・歴史展示室・収蔵庫,文学館等
整備スケジュール	・新美術館の供用開始(令和13年度)以降の改修工事の実施を予定

才 入船山記念館

整備方針	・既存施設の保存・活用に向けた整備を進めるとともに、現美術館への一部機能の移転
	(歴史展示等)を検討する。
	①呉の歴史を伝え、感じる施設
配置する機能	・通常の見学に加え、ユニークベニュー(歴史的建造物や公的空間等で会議・レセプショ
	ンを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場)としての活用
	・歴史資料の活用及び収蔵機能の充実
整備スケジュール	・適宜、保存・活用に当たり必要となる調査、整備等を実施予定

力 幸町地区全体

整備方針	・旧長官官舎から海の見える眺望の確保 ・土砂災害特別警戒区域への対策
	・幸町地区内の回遊性向上案の検討(バリアフリー対応,空中回廊や園内一周路の整備等)
整備スケジュール	・令和9年度から設計・工事を実施し、令和12年度以降の供用開始を予定

※各施設に配置する機能については、今後、幸町地区総合整備基本計画を策定する中で決定します。

(4) 中央地区における回遊性の向上

- ・幸町地区は、呉駅、呉市海事歴史科学館及び中央地区商店街の近隣に位置しており、中央地区の回遊性向上に向けた取組を進めていく必要があります。特に、現在、中央地区で進められている呉駅周辺地域総合開発、呉市海事歴史科学館リニューアル及び呉まちなか公共空間デザインとの相乗効果が得られるよう、連携しながら動線を検討するなどして、幸町地区総合整備を進めていきます。
- ・呉市海事歴史科学館の来訪者に、幸町地区を訪れてもらえるような、ハード・ソフト両面からの対策を進めていきます。
- ・幸町地区総合整備の実施に当たっては,入船山公園多目的広場における陸上競技場の整備と,共用施設などについて,調整しながら検討を進めていきます。

(5) 整備事業費(概算)

項目	事業費	備考
新美術館・青山クラブ整備費	約65億円	・新美術館 約32億円・青山クラブ 約33億円(※)(※)青山クラブの1階から3階までの保存・活用をした場合の事業費
桜松館解体費	約 3億円	
現美術館改修費	約 7億円	
合計	約75億円	

- ※事業費は、建物の概算整備費用であり、展示製作費や、中庭・オープンスペース・空中回廊等の整備費は含んで おりません。
- ※整備に当たっての財源については、内閣府の地方創生関連交付金や、防衛省の補助金、起債などの活用を検討します。

4 今後のスケジュール

令和7年度に、幸町地区総合整備基本計画を策定し、令和8年度以降、各施設のスケジュールに基づき、調査・設計・ 工事に着手します。